

調査の概要

1 調査目的

本調査は、県民の価値観や行動志向、行政への評価・要望など、県民生活の基本的な意識の経年変化を大きな潮流として捉えることにより、政策形成、施策運営の基礎資料を得ることを目的としている。

今回は、年次テーマを「県民の健康づくりについて」とした。県では、健康づくりに取り組んでいる県民の実態や意識を把握し、平成19年度に改定を予定している「兵庫県健康増進計画」の検討に活用するとともに、健診結果や体力測定に基づき、個々人の健康づくりの実践を支援する「健康マイプラン100万人運動」などの健康づくり施策を、より効果的に推進するための方策の検討に活用する。

2 調査設計

- (1) 調査地域 兵庫県全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 調査方法 郵送法（ハガキによる督促1回）
- (5) 調査時期 平成18年11月2日～11月20日
- (6) 県民意識調査懇談会

設問作成にあたり、県民意識調査懇談会を設置して、下記の学識経験者から指導・助言を得た。

北浦 かほる（帝塚山大学 教授）
越川 正三（関西大学 名誉教授）
多田 羅浩三（放送大学 教授）
立木 茂雄（同志社大学 教授）
鳥越 皓之（早稲田大学 教授）
八木 典子（甲子園大学 教授）
山口 泰雄（神戸大学 教授）
吉田 三千代（(株)サンケイリビング新聞社 情報企画部長）

[五十音順]

3 回収結果

回収数 2,545 (50.9%)

地域	標本数	回収数	回収率	集計対象数	無効票
神戸	500	233	46.6	231	2
阪神南	500	218	43.6	216	2
阪神北	500	225	45.0	222	3
東播磨	500	239	47.8	231	8
北播磨	500	257	51.4	252	5
中播磨	500	260	52.0	259	1
西播磨	500	267	53.4	264	3
但馬	500	279	55.8	279	0
丹波	500	294	58.8	293	1
淡路	500	264	52.8	262	2
地域不明	-	9	-	0	9
合計	5,000	2,545	50.9	2509	36

注：地域不明は回答者により地域番号が削除されたもの

4 標本抽出および集計方法

- (1) 母集団 選挙人名簿登録者数(平成18年6月2日現在)に外国人登録者数から推計した外国人県民(成人)数を加えたものを母集団数とした。
- (2) 標本配分 地域ごとに500の標本数を都市規模別母集団構成比に応じて配分(合計5,000人)した。
なお、外国人県民については、市区町ごとに、母集団(日本人+外国人県民)における外国人県民比率を計算し、各市区町の合計標本数(日本人+外国人県民)に、外国人県民比率を乗じ、外国人標本数を算出した。
- (3) 抽出方法 第1次抽出地点として、平成17年国勢調査時に設定された調査区を使用した。
各層で1地点内の標本数が10前後となるよう地点数を決定し、等間隔抽出法により調査地点を抽出した。
各地点における対象者の抽出は、住民基本台帳(一部の市町は選挙人名簿)から等間隔抽出法で抽出した。
外国人県民については、市区町ごとに外国人登録名簿等から無作為抽出した。
- (4) 集計方法 地域ごとの回収数について、全県内の母集団構成比を復元するよう重み付け集計をした。

地域区分



地域名	該当市郡名
神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町
丹波	篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市

5 回答者のプロフィール

(1) 性別 (%)

	男性	女性	無回答
全 県	45.4	52.9	1.7
神 戸	43.3	55.0	1.7
阪神南	44.4	54.2	1.4
阪神北	45.5	52.7	1.8
東播磨	45.0	53.2	1.7
北播磨	48.8	48.8	2.4
中播磨	49.8	48.6	1.5
西播磨	45.5	53.4	1.1
但 馬	50.9	48.7	0.4
丹 波	48.1	50.5	1.4
淡 路	43.9	51.5	4.6

(2) 年代 (%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全 県	8.3	16.0	15.4	19.5	21.7	17.6	1.5
神 戸	7.4	14.8	15.2	18.2	24.3	18.7	1.7
阪神南	10.2	19.0	15.8	19.5	19.0	15.7	0.9
阪神北	5.9	19.8	15.8	16.2	21.6	19.9	0.9
東播磨	7.8	11.3	11.2	19.1	28.2	20.8	1.7
北播磨	8.8	15.4	16.6	19.0	18.6	19.1	2.4
中播磨	7.3	17.4	17.0	24.7	17.8	13.5	2.3
西播磨	11.4	14.8	17.4	23.5	19.3	12.9	0.8
但 馬	12.9	15.4	17.9	21.2	16.5	15.8	0.4
丹 波	10.2	12.6	15.3	23.6	18.8	18.4	1.0
淡 路	6.9	14.1	18.3	18.7	20.3	19.9	1.9

(3) 職業 (%)

	自営・家族従業			勤め人				その他			無回答
	農林漁業	商工、サービス業	自由業	管理職	専門・技術職	事務的な仕事	現業的な仕事	主婦	学生	その他の無職	
全 県	1.9	8.0	2.4	5.3	6.6	13.0	12.7	27.4	1.2	18.9	2.7
神 戸	0.9	7.8	2.6	4.3	6.9	13.9	10.0	29.9	1.3	20.3	2.2
阪神南	0.9	6.9	4.7	4.6	5.6	14.8	13.4	28.2	0.9	18.1	1.9
阪神北	1.8	8.6	1.4	7.2	8.6	9.5	10.4	29.3	1.4	20.3	1.8
東播磨	0.4	4.4	0.0	6.5	5.2	11.7	12.1	31.2	0.4	24.7	3.5
北播磨	2.4	10.7	1.6	4.0	6.7	10.7	17.9	23.0	2.0	16.3	4.8
中播磨	0.8	10.8	3.1	7.3	7.7	13.1	15.4	22.0	0.4	15.1	4.2
西播磨	2.3	6.8	1.9	4.2	6.4	11.4	19.3	29.9	2.3	12.9	2.7
但 馬	3.6	13.3	1.5	3.6	5.7	20.1	16.1	15.1	1.4	16.1	3.6
丹 波	10.2	9.6	2.1	4.1	6.1	14.7	15.0	19.5	1.7	14.0	3.1
淡 路	17.6	10.0	1.6	4.2	5.7	11.5	11.8	16.0	2.3	15.6	3.8

(4) 世帯構成 (%)

	1人世帯	夫婦だけ(1世代)	親と子ども(2世代)	親と子ども(3世代)	その他	無回答
全 県	8.5	25.4	48.7	12.0	4.0	1.5
神 戸	10.8	26.4	48.5	10.0	2.6	1.7
阪神南	6.9	25.9	51.9	7.9	6.5	0.9
阪神北	9.5	27.0	50.0	9.9	2.7	0.9
東播磨	12.6	28.6	46.3	7.8	3.0	1.7
北播磨	5.2	21.8	44.4	20.2	5.6	2.8
中播磨	4.2	24.7	52.1	15.1	2.3	1.5
西播磨	3.8	24.2	47.0	18.2	6.1	0.8
但 馬	6.8	15.1	42.7	26.2	8.6	0.7
丹 波	5.8	16.7	43.7	29.0	2.7	2.0
淡 路	6.9	21.8	43.9	19.5	5.0	3.1

(5) 未既婚 (%)

	既婚(配偶者あり)	既婚(離別・死別)	未婚	無回答
全 県	71.0	12.8	14.1	2.0
神 戸	69.3	16.5	12.6	1.7
阪神南	66.7	11.1	20.4	1.9
阪神北	75.2	12.6	11.3	0.9
東播磨	68.0	15.2	13.9	3.0
北播磨	75.4	9.9	11.9	2.8
中播磨	75.3	10.4	11.6	2.7
西播磨	76.5	6.8	15.5	1.1
但 馬	70.6	9.7	18.3	1.4
丹 波	76.8	8.5	12.3	2.4
淡 路	73.3	11.5	10.3	5.0

(6) 家族構成 (%)

	乳児がいる世帯	幼児がいる世帯	小学生がいる世帯	中学生がいる世帯	高校生がいる世帯	65歳以上の人がいる世帯	あてはまる人はいない	無回答
全 県	2.5	11.6	12.0	9.0	8.9	42.3	32.9	6.0
神 戸	1.7	12.1	10.0	8.2	8.2	40.3	35.9	6.5
阪神南	3.2	11.6	7.4	8.3	6.0	39.4	37.0	4.6
阪神北	4.1	14.0	13.5	8.1	7.7	39.6	27.5	6.3
東播磨	0.0	6.5	10.4	8.2	8.7	39.8	37.7	6.9
北播磨	2.4	11.9	18.7	11.9	10.3	48.0	25.0	7.9
中播磨	3.1	12.7	15.8	9.3	12.7	41.3	30.1	5.8
西播磨	3.8	9.8	17.4	9.5	10.6	49.2	29.9	3.4
但 馬	3.9	14.0	14.3	13.3	11.1	60.2	25.1	3.9
丹 波	3.8	14.0	16.7	16.0	15.4	60.1	22.9	3.4
淡 路	3.1	12.2	19.5	10.7	15.3	49.2	25.6	9.5

(7) 居住年数 (%)

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上10 年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	無回答
全 県	3.7	7.6	6.8	11.8	11.3	7.2	50.1	1.5
神 戸	3.0	7.4	9.5	13.9	13.4	8.2	43.3	1.3
阪神南	6.5	11.1	9.7	13.0	10.6	6.0	42.1	0.9
阪神北	4.5	12.6	4.1	14.0	12.2	5.9	45.9	0.9
東播磨	2.6	3.5	4.3	11.7	8.7	8.2	58.4	2.6
北播磨	3.2	3.6	6.3	7.5	11.5	5.6	59.5	2.8
中播磨	2.7	6.2	6.6	9.3	11.2	7.3	55.2	1.5
西播磨	1.5	5.7	2.3	7.2	9.8	8.0	64.0	1.5
但 馬	2.9	4.3	3.6	7.5	8.2	7.2	65.6	0.7
丹 波	2.4	2.4	2.0	8.9	8.2	7.2	67.9	1.0
淡 路	3.4	5.7	3.1	7.6	11.1	8.0	58.0	3.1

6 標本誤差

世論調査で無作為抽出法をとった場合は、数学的に標本誤差を計算することが可能であり、誤差の幅はサンプル数と得られた結果の比率などによって異なる。

今回の調査のサンプル数についての標本誤差の幅は、以下のとおりである。

(層化二段抽出、信頼度95%の場合)

誤差の算出式

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

例：サンプル数 2,509の場合 * N：母集団 n：回答者総数 P：回答比率(%)

回答比率 (%)	10% (または90%)	20% (または80%)	30% (または70%)	40% (または60%)	50%
誤差(%)	±1.69	±2.26	±2.59	±2.77	±2.82

調査結果のまとめ

1 健康づくりについて

健康づくりで実践していることは、「食生活や栄養のバランスに気をつける」が6割台半ば(66.3%)と最も多い
健康づくりに関する情報源は、「テレビ」(80.5%)が最も多く、「新聞や雑誌など」(64.1%)、「家族・友人・知人」(56.2%)が続く

2 食生活について

食生活で重視していることは、「野菜を多く摂る」(49.1%)、「一日3食きちんと食べる」(42.6%)が4割を超えて多い
食事バランスガイドの認知状況は、「この調査で初めて知った」が約7割(69.3%)。「内容を知っている」(7.4%)と「言葉を聞いたことはある」(21.7%)の合計は約3割(29.1%)
食事バランスガイドを「活用している」は1割に満たない(5.1%)

3 運動について

『継続して運動している』(「1年以上」+「1年未満」)は約4割(39.3%)。「まったく運動していない」は2割を超えて(24.4%)いる
一日の平均歩数は、「2,000歩~4,000歩未満」が約3割(28.4%)と最も多い。『8,000歩以上』は2割に満たない(15.9%)
運動したい場所としては、「自宅」(43.4%)が最も多く、「公共施設」(32.9%)、「海・山・皮などの自然の場所」(31.0%)、「公園」(28.4%)が続く

4 飲酒・喫煙について

飲酒について、「毎日飲む」人は約2割(19.2%)。「ほとんど飲まない(飲めない)」人は4割を超える(44.4%)
1日当たりの飲酒量は、「1合未満」が4割を超えて(42.6%)最も多く、「1合~2合未満」が3割台半ば(36.3%)
喫煙経験がある人は4割台半ば(45%)。そのうち、『現在吸っている』(「毎日吸う」+「ときどき吸う」)は4割台半ば(45.1%)
男性のうち、習慣的に喫煙している者は31.7%。また、女性では8.0%

5 歯の健康について

抜けている歯が「ある」人は5割台半ば(56.2%)
今ある歯の本数(親知らず以外)が「28本」と全てそろっている人は4割を超えて(42.6%)いる。「20~27本」を合わせた『20本以上』は8割を超えて(80.4%)いる
歯の健康のために実践していることは、「毎食後の歯磨き」(44.3%)が最も多く、「糸ようじやデンタルフロス、歯間ブラシなどの使用」(32.2%)、「フッ素入り歯みがき剤の使用」(28.8%)が続く

6 健康診断・健康管理について

この1年間に健診や人間ドックを受診した人は約7割(67.2%)
受診場所は、「職場(定期健診)」が4割を超えて(41.9%)最も多く、「病院、診療所」(37.9%)、「市町保健センター・保健所」(23.9%)が続く
健診等を受診しなかった理由は、「時間が取れなかった」(32.5%)、「受ける必要性を感じなかった」(32.3%)が3割を超えて多い
健診等を受診した際に「食事や生活習慣の改善指導」を受けた人は4割を超えて(43.5%)いる
健診等を受診した際に「治療のための医療機関の受診」をすすめられた人は3割を超えて(31.6%)いる
「指導を受けたのに実行していない」、または「すすめられたのに医療機関に行かなかった」理由は、「めんどうだから」(27.4%)が最も多く、「時間がとれないから」(21.9%)、「重要なことと思わなかったから」(18.1%)が続く
健診等で「指摘された人」と「治療中」の合計は、「肥満」が18.0%、「高血圧」が24.8%、「高血糖」が11.7%、「血中の脂質異常」が26.1%
「メタボリックシンドローム」の認知状況は、「内容を知っていた」が5割を超えた(51.6%)
今後、健康のために特に気をつけようと思っていることは、「食習慣」が約7割(69.6%)、「運動」が6割台半ば(66.8%)で、この2つが特に多い

7 健康づくりの取組状況について

「身近で取り組まれている健康づくりの状況」について、「そう思う」との肯定的な回答の上位3位は、「健診が利用しやすい」(43.4%)、「自然とふれあえる公園等がある」(40.8%)、「人間ドックを実施しているところがある」(33.1%)
「そう思わない」との否定的な回答の上位3位は、「栄養バランスなどに配慮した食事を提供する飲食店がある」(52.3%)、「健康づくりを指導してくれる人がいる」(37.3%)、「気軽に使える運動施設がある」(33.6%)

8 暮らし向きに対する意識

今の生活が「向上している」は10.7%と初めて10%を超える。「低下している」は20.7%と、前年調査から5.8ポイント減少し、調査開始以降、最低

生活の満足度について、『満足』（「満足」+「まあ満足」）は51.8%、『不満』（「やや不満」+「不満」）は29.2%と、『満足』が『不満』を22.6ポイント上回る。『不満』は調査開始以降、最低

9 震災に対する意識

今後10年くらいの中に大震災が『起こると思う』が『起こらないと思う』を5.8ポイント上回る。

『起こると思う』は、前年調査から、8.2ポイント減少

10 県政への意識

『関心がある』（「大変関心がある」+「多少関心がある」）は65.0%を占めるも、前年調査から6ポイント減少

県政への評価は、「震災からの復興対策」、「広報・広聴活動」、「防災対策の充実」、「交通網の整備」等で評価が高いが、「福祉対策」、「学校教育の充実」、「雇用の安定と職業能力の開発」、「病気の予防や医療施設の充実」等では努力が必要としている

